

よ さ さ が わ 一級河川余笹川上流域砂防事業

受賞機関 栃木県大田原土木事務所

はじめに

一級河川那珂川の支川である余笹川は、朝日岳を水源とする流域面積343.5km²、流路延長37.2km。上流域の河床勾配は1/20～1/30の急流河川である。

平成10年8月末、栃木県北東部の那須地域は、台風4号に刺激された前線の影響により、総降雨量1,254mm、最大日雨量607mm、最大時間雨量90mmという記録的な豪雨に見舞われた。この豪雨出水により死者5名、行方不明2名、浸水家屋2,841棟、東北自動車道及び国道4号の橋梁被害などの公共土木施設に甚大な被害が発生した。この被災原因は未曾有の豪雨出水により大量の土砂及び流木が発生し、河道の閉塞による溢水、特に、橋梁部での閉塞が被害拡大の一因であった。

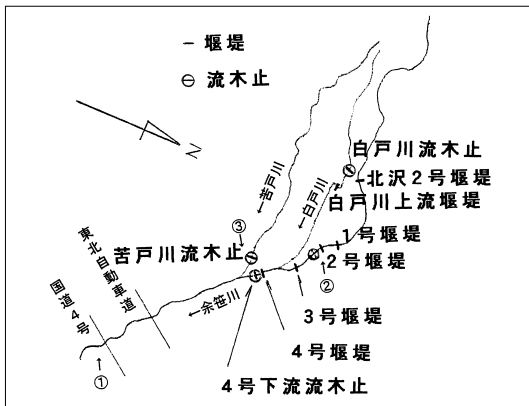
このため、早急に整備するため災害関連緊急砂防事業及び砂防激甚災害対策特別緊急事業を導入し平成14年度に完了したところである。



余笹川2号砂防堰堤工・流木止補足工



苦戸川透過式鋼製堰堤工



位置図



被災時 国道4号余笹橋

事業の概要

工 種：砂防堰堤 6基、流木止補足工 4基

工 期：平成10年11月～平成15年3月

事 業 費：約31億円

事業の特徴

那須高原を流下する余笹川の沿川は、別荘地やキャンプ場等の野外施設が点在しているため、化粧型枠や間伐材の残存型枠を使用し周囲の自然景観との調和を図った。また、イワナ・ヤマメ等の渓流釣りも盛んであるため、砂防堰堤をスリット型構造とし魚類の移動に配慮した。

河床については、瀬や淵を保全・創出することにより、被災前に少しでも近づくよう、釣り人や地元住民からなる「郷土の河川の環境と生態系を愛する会」のメンバーにアドバイスを受けながら事業を進めた。

受賞賛助会員

協和測量設計(株)、(株)ダイヤコンサルタント北関東支店